



## 平成29年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年9月8日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東  
 コード番号 3653 URL http://www.morphoinc.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基

問合せ先責任者 (役職名) 管理部 部長 (氏名) 大野 良 TEL 03 (3288) 3288

四半期報告書提出予定日 平成29年9月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年10月期第3四半期の連結業績（平成28年11月1日～平成29年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	1,735	11.5	645	4.1	669	22.9	479	28.8
28年10月期第3四半期	1,557	△0.4	620	4.5	544	△17.3	372	△14.2

(注) 包括利益 29年10月期第3四半期 484百万円 (35.2%) 28年10月期第3四半期 358百万円 (△19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第3四半期	91.40	90.53
28年10月期第3四半期	72.40	71.71

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第3四半期	4,645	4,330	93.2	821.73
28年10月期	4,063	3,756	92.4	719.17

(参考) 自己資本 29年10月期第3四半期 4,330百万円 28年10月期 3,754百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年10月期	—	0.00	—	—	—
29年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年10月期の連結業績予想（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	16.6	950	15.2	950	26.2	650	28.0	123.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年10月期3Q	5,271,800株	28年10月期	5,271,200株
② 期末自己株式数	29年10月期3Q	1,700株	28年10月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年10月期3Q	5,250,059株	28年10月期3Q	5,145,730株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や業況感、個人の雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかな回復が続きました。一方、世界経済は、中東・北朝鮮情勢や米国の政策運営等の先行きに懸念がありながらも、総じて回復基調となりました。

当社グループの主要な事業領域であるスマートフォン市場では、販売台数の伸び悩みによる在庫調整から、低調な生産が続いており、下位メーカーにおいては画面の大型化やデュアルカメラ化等新製品開発を積極的に進めているものの、その投入が滞る等の苦戦がみられました。また、新たな事業領域と位置付けている人工知能(AI)を活用した関連産業の市場は、金融、製造、情報通信から社会インフラへと活発に広がりをみせました。

このような状況の中、当社グループのカメラデバイス事業においては、スマートフォン市場での更なるシェアアップを目指し、新興スマートフォンメーカー等への営業活動を積極的に進めました。一方、ネットワークサービス事業においては、新サービスの提供や顧客・市場開拓のため、他社との業務提携等にも精力的に取り組み、売上成長に努めました。また、当社グループは、魅力的かつ技術優位性の高い製品開発や将来を見据えた基礎技術研究、新規事業立ち上げのための市場調査活動にも注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,735,555千円(前年同四半期比11.5%増)、営業利益645,853千円(前年同四半期比4.1%増)、経常利益669,243千円(前年同四半期比22.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益479,845千円(前年同四半期比28.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループは、「カメラデバイス事業」「ネットワークサービス事業」の2つを報告セグメントとして、セグメント情報を記載しております。

①カメラデバイス事業

「カメラデバイス事業」は、スマートフォンを中心として車載、監視カメラ、業務・産業機器などへの組込み向け製品のライセンス、開発及びサポート等を行っております。

当事業においては、スマートフォンメーカーからのロイヤリティ収入および車載向け開発収入等が増加したため、売上高は、前年同四半期比6.2%増の1,448,685千円となりました。営業利益は、主に売上高増加により、前年同四半期比6.8%増の1,009,855千円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(千円)	1,363,814	1,448,685	6.2%
セグメント利益(千円)	945,930	1,009,855	6.8%

②ネットワークサービス事業

「ネットワークサービス事業」は、ディープラーニングを中心とした画像認識技術や画像処理技術を用いたシステムのクラウドサービス事業者や映像配信業者等へのライセンス、開発及びサポート等を行っております。

当事業においては、顧客開拓が一段と進み、クラウドサービス事業者や放送事業者から、電子機器メーカー、医療関連事業者等へと顧客の幅に広がりをみせております。当期は、前期の開発案件がロイヤリティ収入へと切り替わった他、開発案件も増加し、売上高は、前年同四半期比48.3%増の286,869千円と大幅に増加いたしました。営業利益は、主に売上高の増加により、前年同四半期比78.7%増の107,457千円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(千円)	193,378	286,869	48.3%
セグメント利益(千円)	60,140	107,457	78.7%

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,297,709千円となり前連結会計年度末に比べ572,781千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が624,508千円、繰延税金資産が22,644千円増加し、売掛金が103,414千円減少したことによるものであります。固定資産は347,724千円となり、前連結会計年度末に比べ8,996千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が16,353千円、無形固定資産が13,756千円増加し、繰延税金資産が33,844千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,645,433千円となり、前連結会計年度末に比べ581,778千円増加いたしました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は268,308千円となり前連結会計年度末に比べ14,627千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が24,336千円、前受金が45,685千円増加し、未払金が35,881千円減少したことによるものであります。固定負債は46,526千円となり、前連結会計年度末に比べ6,618千円減少いたしました。これは主に長期借入金が12,798千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は314,834千円となり、前連結会計年度に比べ8,008千円増加いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,330,598千円となり前連結会計年度末に比べ573,769千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上より利益剰余金が266,499千円増加したこと、自己株式が304,327千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年12月9日の「平成28年10月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,100,095	3,724,603
売掛金	532,162	428,747
仕掛品	1,318	9,813
前払費用	21,504	31,710
繰延税金資産	50,410	73,054
その他	19,437	31,551
貸倒引当金	—	△1,772
流動資産合計	3,724,927	4,297,709
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	47,169	42,182
工具、器具及び備品(純額)	59,178	80,520
有形固定資産合計	106,348	122,702
無形固定資産		
ソフトウェア	22,413	33,213
その他	772	3,728
無形固定資産合計	23,186	36,942
投資その他の資産		
投資有価証券	22,469	22,469
敷金及び保証金	76,807	87,500
繰延税金資産	108,934	75,090
その他	980	9,520
貸倒引当金	—	△6,501
投資その他の資産合計	209,192	188,079
固定資産合計	338,727	347,724
資産合計	4,063,654	4,645,433

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,564	16,507
1年内返済予定の長期借入金	24,648	18,960
未払金	70,640	34,758
未払法人税等	28,169	52,505
未払費用	15,764	16,230
前受金	79,630	125,316
その他	21,264	4,028
流動負債合計	253,680	268,308
固定負債		
長期借入金	25,798	13,000
資産除去債務	27,347	27,610
その他	—	5,916
固定負債合計	53,145	46,526
負債合計	306,825	314,834
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,518,089	1,518,334
資本剰余金	1,466,759	1,467,004
利益剰余金	1,070,732	1,337,231
自己株式	△315,039	△10,711
株主資本合計	3,740,543	4,311,860
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	14,369	18,738
その他の包括利益累計額合計	14,369	18,738
新株予約権	1,915	—
純資産合計	3,756,829	4,330,598
負債純資産合計	4,063,654	4,645,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	1,557,192	1,735,555
売上原価	254,818	255,911
売上総利益	1,302,374	1,479,644
販売費及び一般管理費	681,935	833,790
営業利益	620,438	645,853
営業外収益		
受取利息	231	332
為替差益	—	23,220
その他	298	178
営業外収益合計	529	23,731
営業外費用		
支払利息	554	341
為替差損	75,401	—
その他	668	—
営業外費用合計	76,624	341
経常利益	544,343	669,243
税金等調整前四半期純利益	544,343	669,243
法人税、住民税及び事業税	139,960	178,197
法人税等調整額	31,840	11,200
法人税等合計	171,800	189,398
四半期純利益	372,542	479,845
親会社株主に帰属する四半期純利益	372,542	479,845



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)
四半期純利益	372,542	479,845
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△14,287	4,368
その他の包括利益合計	△14,287	4,368
四半期包括利益	358,255	484,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	358,255	484,214
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、ストック・オプションの行使による自己株式48,300株の処分に伴い、自己株式が304,327千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間末における、自己株式は10,711千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	カメラデバイス 事業	ネットワーク サービス事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,363,814	193,378	1,557,192	—	1,557,192
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,363,814	193,378	1,557,192	—	1,557,192
セグメント利益	945,930	60,140	1,006,070	△385,631	620,438

(注) 1. セグメント利益の調整額△385,631千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△385,631千円  
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	カメラデバイス 事業	ネットワーク サービス事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,448,685	286,869	1,735,555	—	1,735,555
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,448,685	286,869	1,735,555	—	1,735,555
セグメント利益	1,009,855	107,457	1,117,312	△471,459	645,853

(注) 1. セグメント利益の調整額△471,459千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△471,459千円  
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。